

## 1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和4年3月に「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」を公表した（詳細は2022年5月号参照）。

### 令和3砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

#### 【砂糖】

総消費量：175万6000トン（前回見通しから1万トン減）

総供給量：178万3000トン（同2万1000トン増）

#### 【加糖調製品】

消費量および供給量：46万トン（前回見通し同）

#### 【異性化糖】

消費量および供給量：77万1000トン（前回見通しから2万トン減）

表1 令和3砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績見込み)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,710	462.3	398.5	428.1	431.1	1,720	
	含みつ糖	35	7.2	11.9	9.6	7.7	36	
	合計	1,745	469.5	410.4	437.7	438.8	1,756	
供給量	国内産糖	分みつ糖	772	382.3	364.6	39.3	-	786
		含みつ糖	10	0.7	6.8	3.4	-	11
		小計	782	383.0	371.4	42.7	-	797
	輸入糖	分みつ糖	1,025	253.8	134.7	296.9	292.9	978
		含みつ糖	8	1.4	3.4	2.1	0.9	8
		小計	1,032	255.2	138.1	299.0	293.8	986
	合計	分みつ糖	1,797	636.1	499.3	336.2	292.9	1,764
		含みつ糖	18	2.1	10.2	5.5	0.9	19
		小計	1,815	638.2	509.5	341.7	293.8	1,783
期末在庫		429	583.4	651.9	555.9	410.9	411	

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和3砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

(単位：千トン)

	令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績見込み)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	460	111.8	116.7	114.1	117.1	460
供給量	460	111.8	116.7	114.1	117.1	460

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和3砂糖年度の消費量は、令和2砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和3砂糖年度における異性化糖の需給見通し

	令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績見込み)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	750	166.5	170.6	218.9	215.4	771
供給量	750	166.5	170.6	218.9	215.4	771

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第3回）」  
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

## 2. 輸入動向

### 【粗糖の輸入動向】

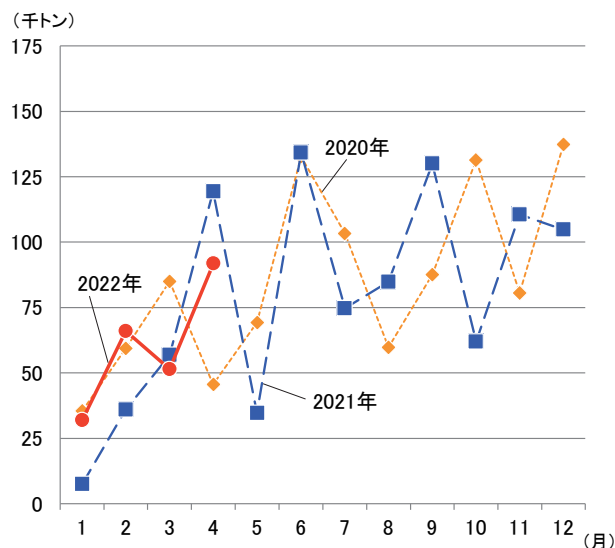
#### 4月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年4月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、9万1918トン（前年同月比23.0%減、前月比78.8%増）であった（図1）。

輸入先は甘しや糖・分みつ糖についてはタイ、甘しや糖・その他については豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図2）。

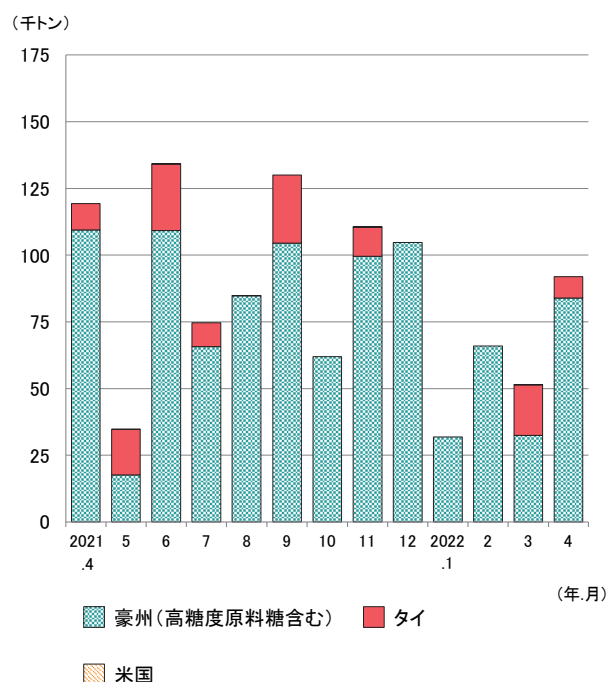
タイ 7963トン  
(前年同月比20.1%減、前月比58.0%減)  
豪州 8万3955トン  
(同23.3%減、同2.6倍)

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

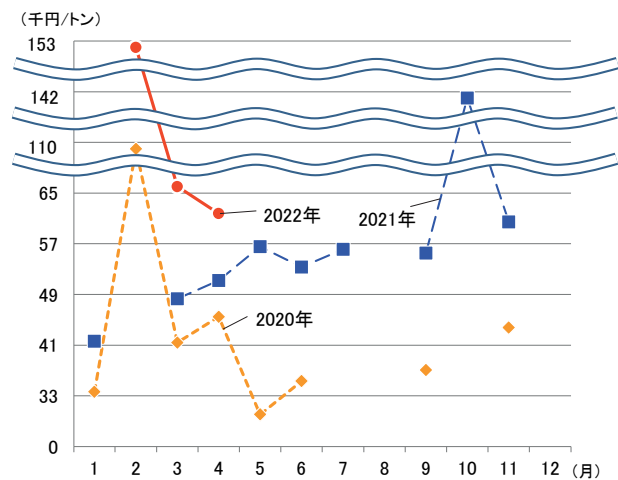
2022年4月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、6万1802円（前年同月比20.7%高、前月比6.4%安）であった（図3）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 6万1802円  
(前年同月比20.8%高、前月比6.4%安)

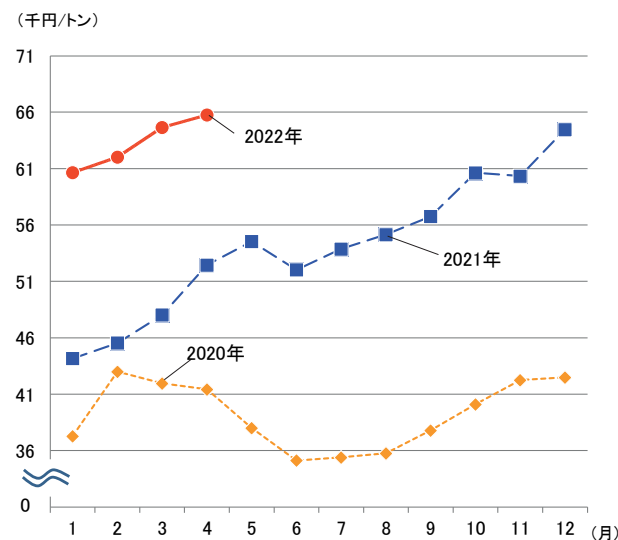
また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、6万5762円（前年同月比25.4%高、前月比1.7%高）であった（図4）。

図3 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：2020年7月、8月、10月、12月、2021年2月、8月、12月および2022年1月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

## 【含みつ糖の輸入動向】

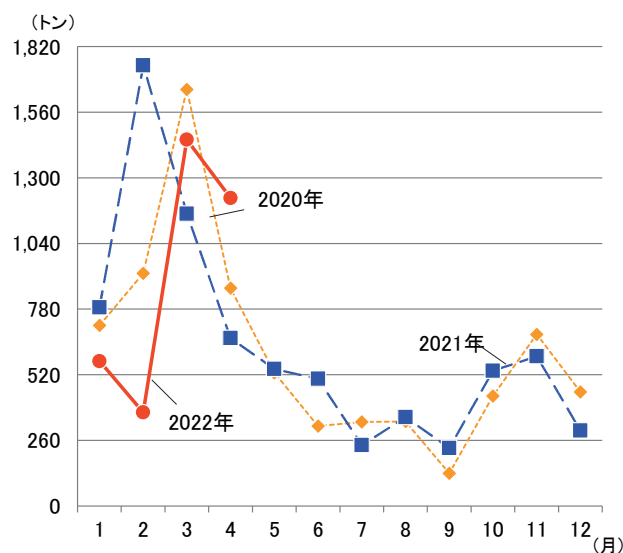
### 4月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年4月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、1220トン（前年同月比83.5%増、前月比15.9%減）であった（図5）。

輸入先はタイ、中国、フィリピン、およびインドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図6）。

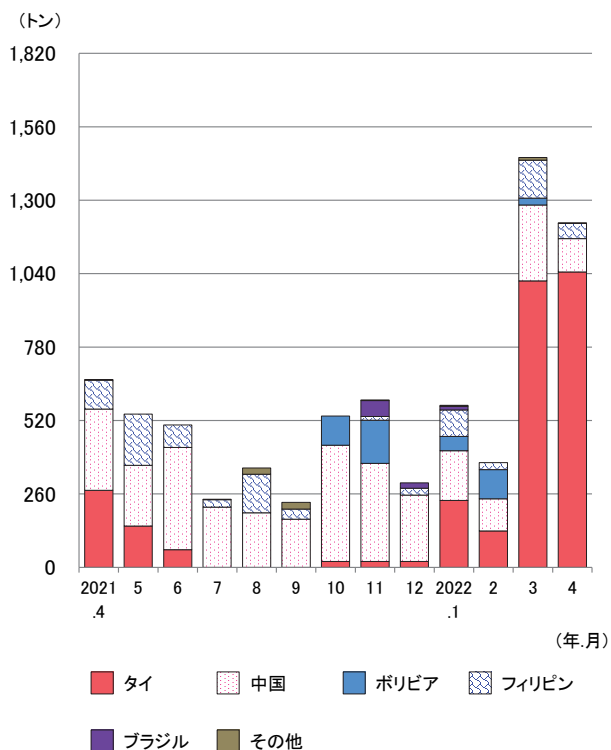
タイ	1046トン
	（前年同月比3.8倍、前月比3.2%増）
中国	118トン
	（同59.0%減、同56.1%減）
フィリピン	54トン
	（同47.1%減、同60.0%減）
インド	2トン
	（前年同月同、同77.8%減）

図5 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含みつ糖の国・地域別輸入量の推移



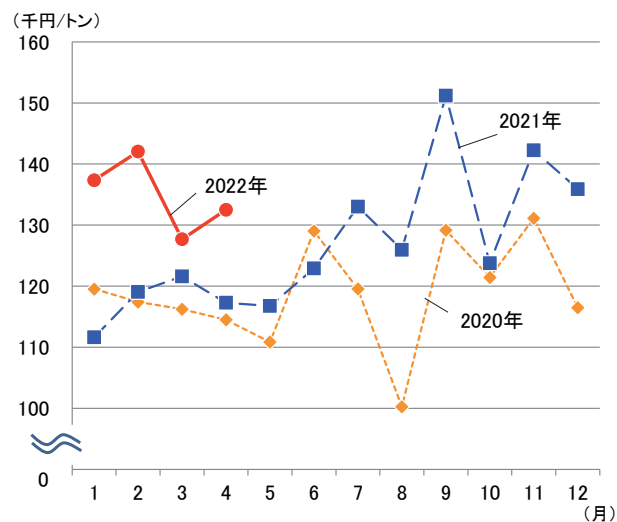
資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2022年4月の1トン当たりの輸入価格は、13万2509円（前年同月比13.0%高、前月比3.8%高）であった（図7）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	12万9410円
	（前年同月比24.2%高、前月比5.0%高）
中国	14万6720円
	（同14.9%高、同7.4%高）
フィリピン	15万2111円
	（同27.3%高、同15.0%高）
インド	38万5500円
	（同2.3倍、同90.7%高）

図7 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

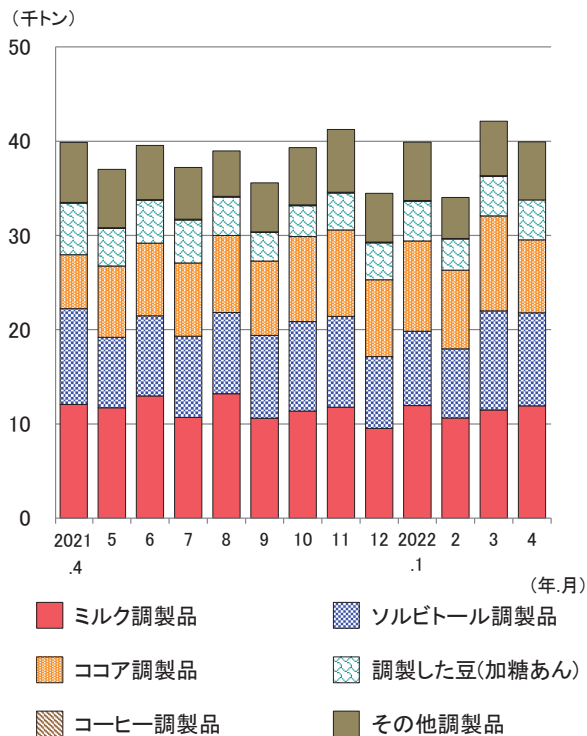
### 【加糖調製品の輸入動向】

#### 4月の加糖調製品の輸入量は前年同月からわずかに増加

財務省「貿易統計」によると、2022年4月の加糖調製品の輸入量は、4万8トン（前年同月比0.4%増、前月比5.0%減）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、次の通り。

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、  
1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、  
1806.90-212、1806.90-213  
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、  
2101.12-246  
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.51-191、  
2005.51-199  
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284  
ソルビトール調製品：2106.90-510  
その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、  
2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品品目別輸入量（4月）

(単位：トン)

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	11,908	▲ 1.4%	3.6%
ソルビトール調製品	9,882	▲ 2.6%	▲ 5.8%
ココア調製品	7,729	34.7%	▲ 23.3%
調製した豆（加糖あん）	4,235	▲ 22.5%	0.6%
コーヒー調製品	82	▲ 8.9%	6.8%
その他調製品	6,171	▲ 2.9%	7.2%
合計	40,008	0.4%	▲ 5.0%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

### 3. 異性化糖の移出動向

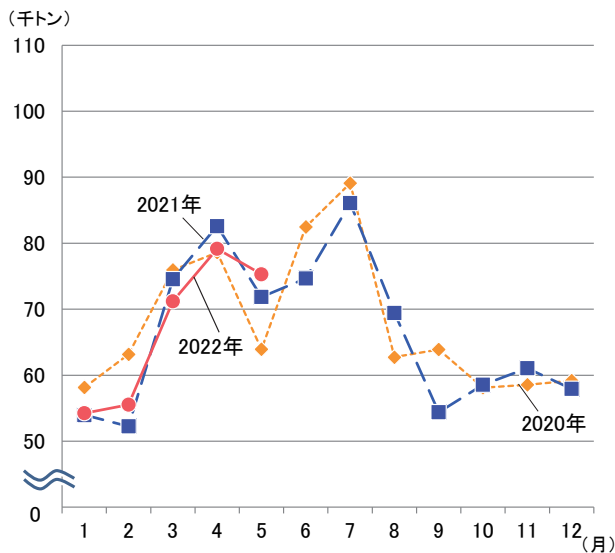
#### 5月の移出量は前年同月からやや増加

2022年5月の異性化糖の移出量は、7万5303トン（前年同月比4.8%増、前月比4.8%減）であった（図9）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図10）。

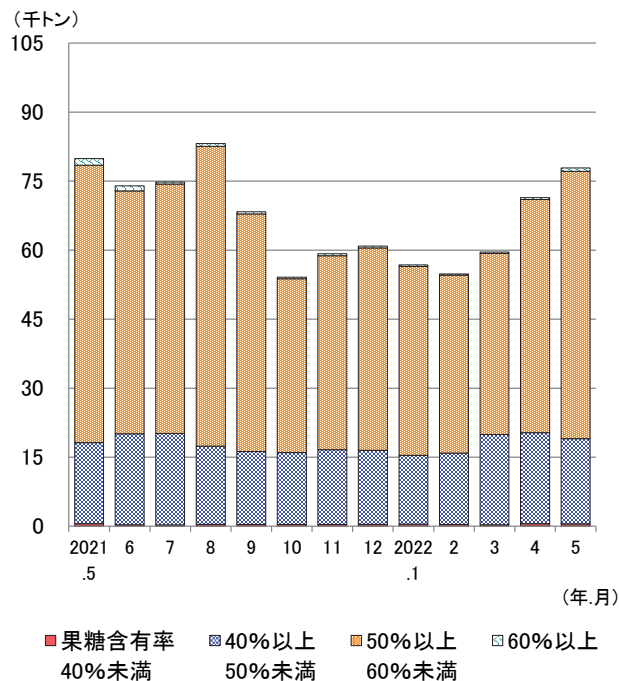
- 果糖含有率40%未満 324トン  
(前年同月比2.2%増、前月比32.7%減)
- 同40%以上50%未満 1万8549トン  
(同5.1%増、同6.4%減)
- 同50%以上60%未満 5万5741トン  
(同5.6%増、同4.1%減)
- 同60%以上 689トン  
(同36.2%減、同6.8%減)

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

## 4. 価格動向

### 【市場価格】

#### 砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

5月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり204～205円

大阪 同204～205円

名古屋 同208円

関門 同208円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり216～219円

大阪 同219円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり209～210円

大阪 同209～210円

名古屋 同213円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり204～205円

大阪 同204～205円

名古屋 同206円

5月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり146～147円

果糖分55%もの

同152～153円

### 【小売価格】

#### 5月上白糖小袋の地域間の価格差は最大で28.5円

マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける5月上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、210.7円（前年同月差14.2円高、前月差0.5円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かった首都圏との価格差は28.5円であった。

同月の地域別<sup>(注)</sup>の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（5月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	223.7	16.0	1.1
東北	213.9	13.4	0.2
関東など	204.9	9.6	1.5
首都圏	195.2	7.6	▲1.0
中部	205.5	14.5	4.0
関西	199.8	12.4	▲0.4
中国・四国	215.5	15.2	▲0.3
九州・沖縄	218.4	17.9	0.2
全平均	210.7	14.2	0.5

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャングライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャングライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

## 5月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で73.3円

マーチャングライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける5月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、258.0円（前年同月差11.2円高、前月差0.2円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は73.3円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（5月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	218.9	9.5	0.1
東北	292.2	0.2	0.4
関東など	286.8	12.8	▲2.6
首都圏	266.8	7.5	▲0.6
中部	251.4	10.1	0.8
関西	244.4	11.5	▲0.1
中国・四国	253.2	13.0	1.4
九州・沖縄	253.4	11.4	0.0
全平均	258.0	11.2	0.2

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャングライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャングライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

## 5月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で48.7円

マーチャングライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける5月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、244.7円（前年同月差12.3円高、前月差0.6円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かった首都圏との価格差は48.7円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（5月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	279.0	23.5	1.6
東北	262.7	9.9	0.3
関東など	233.1	5.6	▲3.2
首都圏	230.3	5.9	▲4.6
中部	249.5	12.9	5.1
関西	239.3	5.9	▲0.2
中国・四国	252.5	16.4	1.8
九州・沖縄	237.3	15.6	0.7
全平均	244.7	12.3	0.6

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャングライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

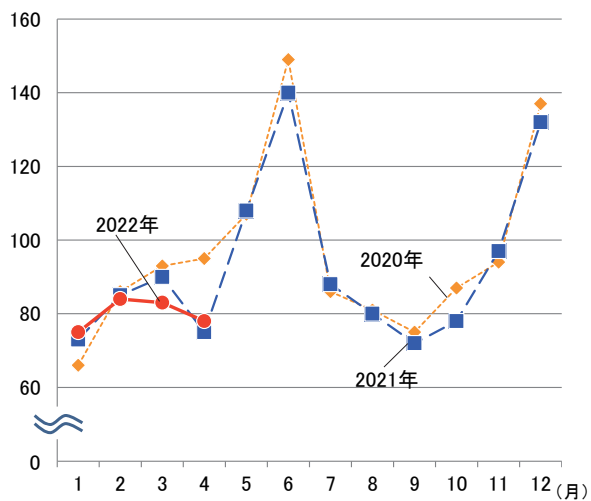
注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャングライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

## 【支出金額および購入数量】

### 4月の砂糖の支出金額は前年同月からやや上昇

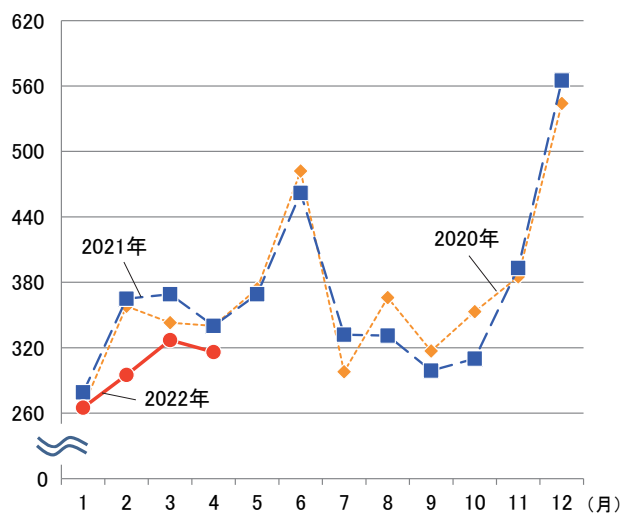
総務省「家計調査」によると、2022年4月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は32、1世帯（二人以上）当たりの支出金額は78円（前年同月比4.0%高、前月比6.0%安）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、316グラム（同7.1%減、同3.4%減）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出金額の推移  
(円)



資料：総務省「家計調査」

図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移  
(グラム)



資料：総務省「家計調査」